



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るいあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第133号
令和2年1月20日発行
編集・発行

社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ <https://www.iwaki-shakyo.com>
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com



年頭のごあいさつ 社会福祉法人いわき市社会福祉協議会 会長 強口 暢子 こわ くち のぶ こ

市民の皆さまには、清々しい新年をお迎えのことと思います。
また、日ごろ、本会の福祉活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
昨年10月に発生しました台風第19号及び台風第21号の豪雨により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、甚大な被害をもたらされた皆さまへお見舞い申し上げます。

被災された方々のニーズが日々変化していくなかで、あらためてお互いに助け合い、支え合うコミュニティの重要性を強く感じさせられました。本会といたしましては「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」を目指すべく、住民支え合い活動により一層力を入れるとともに、地域における強固な福祉コミュニティの構築に向け、皆さまのご支援を賜りながら本年も様々な地域福祉活動を展開して参りたいと考えております。

市民の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

目次

年頭のごあいさつ	1
令和元年台風第19号及び台風第21号の豪雨における災害対応について	2～3
いわき市住民支え合い活動づくり事業	4
住民支え合い事業	5
いわき市ボランティア活動助成金配分結果報告	6
社協通信	7
地区協議会だより	8



社協のイメージキャラクター「ふくみちゃん」

号の豪雨における災害対応について

災害ボランティアセンターの設置

本会では、昨年10月の台風第19号による被害に伴い、いわき市から設置要請を受けて「いわき市災害ボランティアセンター」を開設しました。これまで一万人を超える市内外のボランティアの皆さまのご協力をいただくとともに、運営に当たっては、市民の皆さまをはじめ、県内外の社会福祉協議会及び企業、団体等多くの皆様の支援を受けながら活動を進めております。



ボランティア受付



ニーズ受付



ボランティアマッチング



オリエンテーションの様子



活動資材の管理



活動報告受付中



ボランティア活動の様子



赤い羽根共同募金から
配分をいただいております。

令和元年台風第19号及び台風第21

【依頼された方からの声】

- ◆ひとりで頑張っていましたが、ボランティアさんが来てくれて、元気をもらえました。(平下平窪 80代女性)
- ◆今回、いろんな方に来てもらえて、とても嬉しかったです。自分の家が落ち着いたら、わたしもボランティア活動しようと思います。
(小川 70代女性)
- ◆ボランティアの方に来ていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。皆が早く立ち直って元の生活に戻りたいと思っています。
(好間 80代男性)



活動実績（令和元年12月15日現在）

- ニーズ受付（ボランティア依頼）件数 885件
- ボランティア活動者数 延べ10,475名

【主な活動内容】

- 被災された家屋の室内の片づけ、家具の移動
- 水害ゴミの分別及び集積所までの運搬、泥だし等



災害ボランティアセンターに関する最新情報は、ホームページとFacebookに掲載しております。

- ホームページ (<https://www.iwaki-shakyo.com/volunteer/saigai-volunteer.html>)
- Facebook (<https://www.facebook.com/iwaki.shakyo/>)

詳しくは、ボランティア活動センター ☎38-6631まで

避難所支援と温泉入浴車の貸し出し

- 避難所支援（令和元年10/12～10/13及び10/18～10/27）

いわき市との協定に基づき福祉避難所へ本会の介護職員の派遣を行いました。



- 温泉入浴車両の貸出（令和元年10/14～10/21）

断水した社会福祉施設（12施設）に温泉入浴車両を給水車として貸し出しを行いました。



生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付の受付相談窓口の開設

台風第19号により被災された方で、当座の生活費を必要とする世帯を対象に福島県社会福祉協議会が生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付を実施するにあたり、本会では受付相談窓口を開設しました。

令和元年11月30日現在

- 申込件数 18件
- 決定件数 12件
- 決定金額 1,950,000円



構成メンバーと取り組み

第2層協議体の構成メンバーは、平成27年～平成28年度に実施した「いわき市住民支え合い活動づくりモデル事業」により創出された第3層協議体の代表者、行政嘱託員（区長）、民生委員・児童委員、その他既存のボランティア団体、民間企業、NPO法人、福祉施設など20名程度で構成しています。

令和元年10月の第8回会議については、台風の影響により多くの地区で延期となりましたが、小名浜、勿来、遠野の3地区で開催し、各地区における住民支え合い活動の取り組み状況などについて、情報を共有しました。

また、11月には臨時開催として、台風により被害が発生した内郷、遠野、川前の3地区で開催し、地区内の被災状況の確認、ボランティアの活動状況などについて、情報を共有しました。

構成メンバーからは、隣近所の住民同士による日頃からの声掛けや助け合いが大事であるとの声が聞かれ、改めて、支え合い活動の重要性を再認識することができました。

平成29年度から、市の事業委託を受けて、地域住民や企業など多様な主体による生活支援サービスの充実をめざし、高齢者をはじめ、子育て世代、子どもや障がい者などが様々な困難を抱えた場合でも社会から孤立せず、地域において安心してその人らしい生活を送ることができるよう、公的支援と連動し、地域住民による「支え合い活動」を地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現を目的に、市内13地区（平地区を含む支所単位）に「第2層協議体」を設置し、支え合い活動の取り組みに関する情報共有や意見交換を行っています。

いわき市 住民支え合い活動づくり事業

住民支え合い生活支援サービスの一例



小名浜地区：庭木の剪定



常磐地区：草引き

お困りごとはありませんか？

住民同士が共に支え合い・助け合うための仕組みとして、「住民支え合い生活支援サービス」を実施しています。

日常生活の中で、お困りごとがある方、困っている方のお手伝いをしたい方（サポーター）は、お住まいの地域のいわき市社会福祉協議会 各地区協議会まで、お気軽にご相談ください。



★詳しくは、地域福祉課 ☎23-3320代まで

日頃からのお隣同士のつながりが大切！ 住民支え合い事業

現在、市内36地区で、地域住民の生活圏域となる行政区・自治会等に住民組織（第3層協議体）を設置し、住民が抱える生活課題や生活支援ニーズを把握し、解決に向けて、地域住民・関係機関等が協働しながら、支え合いの仕組みづくりを進め、生活に不安を抱える方々の見守りや支援を行っています。

令和元年11月30日現在

地区名	実施地域（名称）	地区名	実施地域（名称）
平	平第24区（城山結いの会）	遠 野	深山田区（なごみの輪）
	平第48区（愛結いの会）		西根区（安全サポート）
小名浜	玉川町西区		前田区
	永崎区		上遠野区1（結の和）
	玉露1・2区		上遠野区2（やまびこ会）
勿 来	南台1・2区（南台ひまわり会）	小 川	塩田区
	関田連合自治会		山ノ入・淵沢区
常 磐	下船尾区（船尾いきいきサポーター会）	好 間	田代・沼平区
	上川区		北の2区
内 郷	高坂9区（つどいの会）		椎木平区
	内郷高野町区会	三 和	上市萱区（福祉支援クラブ「和」）
四 倉	新町区（笑顔の会）	田 人	入旅人大字区（わが町協力隊289）
	梅ヶ丘南区（21区ニコニコ会）		石住区（支え合い隊）
遠 野	上根本区（住民支え合い会）	川 前	山下谷区
	入定区（徳溢会）		沢尻区
	東山区（さわやか応援隊）	久之浜・大久	西町1区（ふれあい協議会）
	下滝区（住民支え合い会）		中町町内会
	関屋・落合区（ふれあい会）		東町町内会

活 動 紹 介

支え合いサポーターによる災害復旧作業

昨年10月の台風第19号及び台風第21号の豪雨により、支え合い活動を実施する地区においても多くの被害が発生しましたが、いち早く支え合いサポーターが協力し合い、心配な方への声かけと避難誘導、その他生活に必要な復旧作業を行いました。



小川地区：網戸の解体作業



遠野地区：橋の復旧作業

各地区でさまざまな取り組みを行っています。詳しくは、地域福祉課 ☎23-3320（代）まで

いわき市ボランティア活動助成金配分結果報告

いわき市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成・助長することを目的に「**いわき市ボランティア基金**」を設置しています。

これまで、ボランティア活動のための研修会、資機材の整備、福祉教育活動などさまざまな分野へ幅広く助成金を配分しています。

◆ボランティア基金造成額

5億51万6,163円

(平成31年3月31日現在)

◆令和元年度までの助成実績

- ・助成団体数 393団体
- ・助成総額 9,133万8,936円

令和元年度助成金配分結果 10団体 総額211万1,000円

助成団体名	助成額	助成内容
いわき点訳グループ	187,000円	点字活動に必要な点字編集ソフトウェア整備事業
勿来地区ボランティア連絡会	70,000円	広報活動に必要な広報紙発行事業
特定非営利活動法人 Commune with 助産師	194,000円	子育て支援ボランティア活動の周知と啓発を図るための情報発信の充実
CAPいわき	175,000円	就学前プログラムに必要な人形の購入と就学前プログラムの提供
視覚障害者サポートグループ ゆかり(縁)	200,000円	視覚障害者サポーター講座の開催
いわき市ボランティア連絡協議会	180,000円	ボランティア団体交流会開催事業 広報紙発行及び送付事業
Wendy いわき	200,000円	広報紙「ココフィレいわき」の編集発行事業
虹色コーラス友の会	130,000円	コーラス会における資料作成のための機材整備事業
いわき音楽療法研究会 ミュージックフォレスト	189,000円	音楽活動に必要な機材整備事業
いわき市社会福祉協議会 ボランティア活動センター	586,000円	いわき市ボランティアフェスティバル開催 ボランティア活動保険助成事業 ボランティア活動における資機材整備事業
合 計	2,111,000円	

ボランティア活動助成金配分を受けて

Wendy いわき

代表 三浦 綾

Wendyいわきでは、お子さまの一時預かりのほか、交流スペースの開放、各種教室などの企画・開催のお手伝いをしています。

また、子育てに役立つ情報、地域で活躍する人や団体、店舗、イベント情報を掲載した広報紙「ココフィレいわき」の編集・発行・配布を通じて、子育て世帯やその応援者の皆様、震災により市内に避難された方や地域、人との繋がりを大切に活動しています。

広報紙に掲載された一つの情報が外出するきっかけと

なり、そこから新たな出会いが生まれ、たくさんの友情が育まれていくことに喜びを感じています。

今回の助成決定により、広報紙「ココフィレいわき」を増刷できることとなり、より多くの皆様に役立つ情報をお届けすることができるようになりました。

今後も、様々な活動を通じて、人と地域を繋いでいけるよう、より一層きめ細やかな支援を行ってまいります。ありがとうございました。



社協通信

教育支援資金のご案内

社会福祉協議会では、高校、専門学校、短大、大学等の進学にあたって経済的に困りの方に、生活福祉資金の「教育支援資金」の貸付を行っています。



◆ご利用いただける世帯

収入が一定基準以下で、他の貸付制度（国の教育ローン・母子父子寡婦福祉資金・日本学生支援機構の奨学金など）を利用することが困難な低所得世帯

◆貸付利子 無利子

◆借受人 実際に就学する方

◆連帯借受人 原則として同一世帯の生計中心者

◆連帯保証人 原則として、65歳以下の収入のある県内居住者

◆償還期間 卒業後6カ月以内の据置期間経過後、20年以内

教育支援資金のお問い合わせは
お住まいの地区の社会福祉協議会まで

貸付種類	対象経費	貸付限度額
教育支援費	修学に必要な経費 授業料・参考書・学用品・ 交通費（通学定期代）・ アパート家賃など	①高等学校（専修学校高等課程含む） 月額35,000円以内 ②高等専門学校 月額60,000円以内 ③短期大学（専修学校専門課程） 月額60,000円以内 ④大学 月額65,000円以内
就学支度費	入学に際し必要な経費 入学金・制服・教科書 等の入学時に学校に納入する経費	500,000円以内

地区名	問い合わせ先	電話番号
平	平地区協議会	22-6441
小名浜	小名浜地区協議会	54-2111(代)
勿来	勿来地区協議会	63-2111(代)
常磐	常磐地区協議会	43-2111(代)
内郷	内郷地区協議会	27-8707
四倉	四倉地区協議会	32-2114(代)
遠野	遠野地区協議会	89-2111(代)
小川	小川地区協議会	84-9145
好間	好間地区協議会	36-2221(代)
三和	三和地区協議会	86-2111(代)
田人	田人地区協議会	69-2111(代)
川前	川前地区協議会	84-2111(代)
久之浜・大久	久之浜・大久地区協議会	82-2111(代)

詳しくは、生活支援課 ☎23-3320(代)まで

第73回福島県社会福祉大会及び第45回いわき市総合社会福祉大会について

昨年10月の台風第19号及び台風第21号の豪雨の影響により、第73回福島県社会福祉大会（10月31日開催）及び第45回いわき市総合社会福祉大会（11月20日開催）は、中止になりましたが、次のとおり各賞の受賞が決定されました。

第73回福島県社会福祉大会
受賞者数

【知事感謝】 8名
【大会会長表彰】 34名
【大会会長感謝】 2団体
【赤い羽根共同募金運動スローガン入選】
優秀賞 1名

第45回いわき市総合社会福祉大会
受賞者数

【市長感謝】 9名
【大会会長表彰】 112名 3団体
【大会会長感謝】 10名 6団体

地区協議会だより

市内13地区(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久)に地区協議会を設置し、『誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるまち いわき』を基本理念に、地域住民の福祉ニーズに合ったさまざまな事業を実施しています。

小名浜地区協議会 (青少年福祉体験学習)



高齢者や身体に障がいを持った方に対して、優しい心で接することができる心を育てることを目的に、昨年12月4日(水)、小名浜

第三小学校4年生(71名)を対象に開催しました。

当日は地元の民生委員・児童委員6名の協力により、車椅子体験やインスタントシニア体験を行い、自分たちにできることは何かについて考える機会となったようでした。

◆詳しくは、小名浜地区協議会 ☎54-2111代まで

四倉地区協議会 (高齢者ふれあいの集い)



高齢者の生きがいづくりと地域住民同士の交流を深めることを目的に、昨年10月11日(金)、四倉公民館において四倉地区

敬老会と共催で開催しました。

当日は276名が参加し、敬老会表彰、四倉保育園児による遊戯の鑑賞、演奏会、紅晴美氏による歌謡ショー、いわき市職員を講師とした減塩に関するミニ講話が行われ、楽しく親睦を深めました。

◆詳しくは、四倉地区協議会 ☎32-2114代まで

三和地区協議会 (介護者ほっと一息支援)



寝たきりや付き添いが必要な家族の在宅介護をされている方の「ほっと一息」できる心のゆとりにつながるよう、地元の民生

委員・児童委員の協力のもと、20世帯にシクラメンを届けました。

訪問の際には、介護に関する困り事を伺うなど、介護者が困り事を抱えたまま孤立しない取り組みにもなっています。

◆詳しくは、三和地区協議会 ☎86-2111代まで

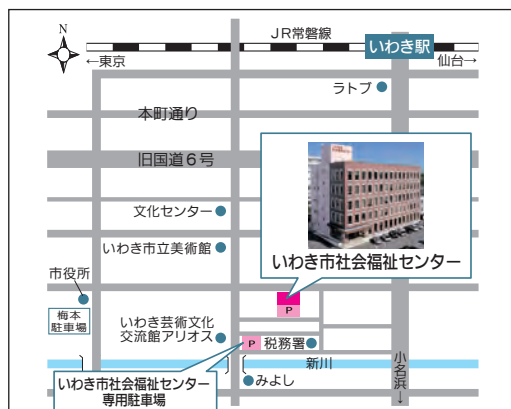
久之浜・大久地区協議会 (地域ふれあい交流事業)



地域住民の生きがいづくりと社会参加・健康増進を目的に、昨年9月30日(月)、いわき新舞子ハイツで開催しました。

当日は62名が参加し、体操や温泉入浴、いわき市職員による健康相談等を行い、健康づくりをしながら親睦を深めました。

◆詳しくは、久之浜・大久地区協議会 ☎82-2111代まで



編集後記

令和元年台風第19号及び第21号の影響により、本会で災害ボランティアセンターを設置いたしました。既存の住民組織で泥だしや水害ごみの搬出作業などを率先して行った地区があり、日頃からの支え合いや助け合いが、有事の際にも役立つことを改めて感じました。
広報委員一同

皆さまの声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆さまの声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。

住所：いわき市平字菱川町1番地の3 (いわき市社会福祉センター内)

ホームページ ▶ <https://www.iwaki-shakyo.com>

メールアドレス ▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市社協
ホームページ